



平成22年8月期 第2四半期決算短信

平成22年4月14日

上場会社名 グローウェルホールディングス株式会社
コード番号 3141

上場取引所 東証第二部
URL <http://www.growell.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高田隆右

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員グループ財務経理本部長

(氏名) 佐藤範正 TEL03(5207)-5878

四半期報告書提出予定日 平成22年4月14日

配当支払開始予定日

平成22年5月17日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年8月期第2四半期の連結業績 (平成21年9月1日～平成22年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年8月期第2四半期	108,434	22.3	3,054	10.8	3,245	8.5	1,627	54.2
21年8月期第2四半期	88,691	—	2,757	—	2,990	—	1,055	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年8月期第2四半期	115	87	—	—
21年8月期第2四半期	75	14	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
22年8月期第2四半期	88,207		28,106		30.8		1,930 85	
21年8月期	86,867		26,912		29.9		1,850 30	

(参考) 自己資本 22年8月期第2四半期 27,127百万円 21年8月期 25,996百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年8月期	—	—	—	35 00	35 00
22年8月期	—	17 50	—	—	—
22年8月期(予想)	—	—	—	17 50	35 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成22年8月期の連結業績予想 (平成21年9月1日～平成22年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	238,000	19.6	7,000	27.6	7,300	23.6	3,000	39.3	194	35

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

[(注) 詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 有

[(注) 詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

22年8月期第2四半期	14,065,198株	21年8月期	14,065,198株
-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

22年8月期第2四半期	15,448株	21年8月期	15,202株
-------------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)

22年8月期第2四半期	14,049,834株	21年8月期第2四半期	14,050,374株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外の景気回復や経済対策を背景とした企業の生産拡大などに回復の兆しが見られるものの、デフレ傾向の長期化による消費者物価指数の下落継続や不安定な雇用情勢などの先行きの不透明感から、消費者の生活防衛意識が高く引き続き節約志向の動きが見られるなど、個人消費が低調に推移する厳しい環境が継続しております。

ドラッグストア業界におきましては、昨年6月に施行された改正薬事法により、異業種参入、M&Aや資本・業務提携の業界再編の動きが一段と加速する中、消費の低迷、出店競争や価格競争の波を受け、業界を取り巻く環境は一層厳しい状況となっております。

このような状況下におきまして、当社グループは、引き続き「ドラッグ&調剤」を中心としたビジネスモデルの推進に注力するとともに、お客さまニーズに対応する商品戦略の推進、販管費等のコスト削減に取り組むなど更なるグループ力の向上に努めてまいりました。

店舗の出店・閉店につきましては、新規16店舗を出店、閉店3店舗となり、当第2四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数は、以下のとおり579店舗となりました。

(単位：店)

	前期末店舗数 (平成21年8月31日)	出店数	閉店数	第2四半期末店舗数 (平成22年2月28日)
ウエルシア関東及び子会社 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	350 (282) (247)	9	2	357 (295) (254)
高田薬局 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	104 (43) (20)	4	1	107 (45) (30)
寺島薬局 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	112 (27) (65)	3	—	115 (42) (79)
合 計 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	566 (352) (332)	16	3	579 (382) (363)

また、品目別売上高は、下記の通りとなっております。

区分	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
医薬品・衛生介護品・ベビー用品・健康食品	29,673	119.1
調剤	8,394	131.2
化粧品	20,303	117.5
家庭用雑貨	15,754	115.8
食品	24,441	118.8
その他	9,867	166.6
合計	108,434	122.3

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高108,434百万円（前年同四半期比22.3%増）、営業利益3,054百万円（同10.8%増）、経常利益3,245百万円（同8.5%増）、四半期純利益1,627百万円（同54.2%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,340百万円増加し、88,207百万円となりました。これは主に、商品が1,505百万円、有形固定資産が909百万円増加したものの、現金及び預金が487百万円、のれんが600百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して145百万円増加し、60,100百万円となりました。これは主に、買掛金が3,098百万円増加したものの、短期借入金が990百万円、長期借入金が1,713百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して1,194百万円増加し、28,106百万円となりました。これは主に、配当金491百万円の支払による減少に対して、当第2四半期連結累計期間における四半期純利益1,627百万円を計上したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、7,541百万円（前年同四半期末比333百万円の増加）となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、5,083百万円の増加（前年同四半期比4,453百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3,170百万円に対して、主な増加要因として仕入債務の増加3,098百万円及び主な減少要因としてたな卸資産の増加1,507百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,828百万円の減少（前年同四半期比8,852百万円の増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,554百万円、敷金の差入による支出636百万円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、4,008百万円の減少（前年同四半期比15,289百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入れによる収入835百万円に対して、短期借入金の減少530百万円及び長期借入金の返済による支出3,008百万円があったこと等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年8月期通期の業績予想につきましては、現時点では「平成21年8月期 決算短信」(平成21年10月15日付)において公表いたしました予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末決算において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

表示方法の変更

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「定期預金の預入による支出」及び「定期預金の払戻による収入」については重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記することとしております。なお、前第2四半期連結累計期間の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「定期預金の預入による支出」は△5百万円、「定期預金の払戻による収入」は、70百万円であります。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,749	9,237
売掛金	3,623	3,291
商品	23,456	21,951
その他	3,663	3,571
貸倒引当金	△5	△2
流動資産合計	39,488	38,049
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,897	12,704
土地	5,439	5,191
リース資産(純額)	4,395	4,227
その他(純額)	1,141	841
有形固定資産合計	23,874	22,964
無形固定資産		
のれん	10,056	10,657
その他	794	779
無形固定資産合計	10,850	11,436
投資その他の資産		
差入保証金	12,155	11,376
破産更生債権等	70	77
その他	1,839	3,039
貸倒引当金	△70	△77
投資その他の資産合計	13,994	14,415
固定資産合計	48,719	48,817
資産合計	88,207	86,867
負債の部		
流動負債		
買掛金	28,524	25,426
短期借入金	7,131	8,122
未払金	1,987	1,963
未払法人税等	1,601	1,578
賞与引当金	401	378
ポイント引当金	1,610	1,536
その他	3,040	3,308
流動負債合計	44,298	42,313
固定負債		
社債	713	784
長期借入金	10,887	12,600

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
退職給付引当金	419	388
役員退職慰労引当金	630	594
その他	3,152	3,272
固定負債合計	15,802	17,640
負債合計	60,100	59,954
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	14,271	14,271
利益剰余金	11,880	10,744
自己株式	△32	△32
株主資本合計	27,118	25,983
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9	13
評価・換算差額等合計	9	13
少数株主持分	978	915
純資産合計	28,106	26,912
負債純資産合計	88,207	86,867

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日)
売上高	88,691	108,434
売上原価	62,847	77,058
売上総利益	25,843	31,375
販売費及び一般管理費	23,086	28,321
営業利益	2,757	3,054
営業外収益		
受取利息及び配当金	68	54
協賛金収入	122	53
その他	210	248
営業外収益合計	400	356
営業外費用		
支払利息	116	123
その他	51	41
営業外費用合計	167	165
経常利益	2,990	3,245
特別利益		
固定資産売却益	12	—
貸倒引当金戻入額	4	1
移転補償金	—	21
保険解約返戻金	—	35
その他	2	3
特別利益合計	19	61
特別損失		
店舗閉鎖損失	31	7
固定資産除却損	12	3
投資有価証券売却損	32	—
投資有価証券評価損	93	2
減損損失	381	102
たな卸資産評価損	298	—
その他	3	20
特別損失合計	853	136
税金等調整前四半期純利益	2,156	3,170
法人税、住民税及び事業税	1,569	1,507
法人税等調整額	△452	△27
法人税等合計	1,117	1,479
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△15	62
四半期純利益	1,055	1,627

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,156	3,170
減価償却費	888	1,210
減損損失	381	102
のれん償却額	510	600
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	121	22
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	31	36
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	27	30
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	118	74
受取利息及び受取配当金	△68	△54
支払利息	116	123
投資有価証券売却損益 (△は益)	32	△3
投資有価証券評価損益 (△は益)	93	2
有形固定資産売却損益 (△は益)	△12	—
固定資産除却損	12	3
固定資産受贈益	△42	△14
売上債権の増減額 (△は増加)	△59	△332
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,024	△1,507
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,201	3,098
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3	4
その他	△314	△9
小計	1,760	6,554
利息及び配当金の受取額	62	48
利息の支払額	△115	△125
法人税等の支払額	△1,077	△1,503
法人税等の還付額	—	110
営業活動によるキャッシュ・フロー	630	5,083
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△496
定期預金の払戻による収入	—	230
有形固定資産の取得による支出	△2,112	△1,554
無形固定資産の取得による支出	△53	△41
保険積立金の解約による収入	—	586
敷金の差入による支出	△879	△636
敷金の回収による収入	127	64
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△7,658	—
その他	△105	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,681	△1,828

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	858	△530
長期借入れによる収入	12,310	835
長期借入金の返済による支出	△1,487	△3,008
社債の償還による支出	△81	△471
配当金の支払額	△172	△491
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△145	△342
自己株式の取得による支出	△1	△0
その他	—	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,281	△4,008
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,230	△753
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	789	—
現金及び現金同等物の期首残高	5,188	8,294
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,208	7,541

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年9月1日 至 平成21年2月28日）

当社グループの事業は、医薬品・衛生介護品・ベビー用品・健康食品、調剤、化粧品、家庭用雑貨、食品等を扱う小売業を主たる事業としており、この事業の売上高及び営業利益の金額は、いずれも全セグメントに占める割合が90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日）

当社グループの事業は、医薬品・衛生介護品・ベビー用品・健康食品、調剤、化粧品、家庭用雑貨、食品等を扱う小売業を主たる事業としており、この事業の売上高及び営業利益の金額は、いずれも全セグメントに占める割合が90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

② 所在地別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年9月1日 至 平成21年2月28日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

③ 海外売上高

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年9月1日 至 平成21年2月28日）

海外売上高がないため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日）

海外売上高がないため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません